

キャッシュレス推進の取り組みについて

1 キャッシュレスの現状と課題

近年、キャッシュレス決済は世界的な潮流となっている。しかし、日本では、クレジットカードや電子マネー等の普及により、決済全体に占めるキャッシュレス決済の割合は増加傾向にあるものの、諸外国に比べて現金決済の割合が高く、キャッシュレス決済の普及に向けたさらなる取り組みが必要である。

2 今後の方向性

国は、少子高齢化や人口減少に伴う労働者人口減少や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えたインバウンドの増加などを見据え、キャッシュレス・ビジョンを策定し、キャッシュレス化の取り組みを推進している。区においても、こうした国の動きを踏まえ、キャッシュレス化を推進する。

3 キャッシュレス決済サービスの種類

- (1) プリペイド方式
- (2) リアルタイムペイ方式
- (3) ポストペイ方式

4 キャッシュレス推進による効果

- (1) 消費者の利便性向上
- (2) 事業者の生産性向上
- (3) 行政事務(納税など)の効率化

5 中野区におけるキャッシュレス推進の取り組み

- (1) 住民税、国民健康保険料及び介護保険料などの口座振替払の推進
- (2) 住民税、軽自動車税及び国民健康保険料のモバイルクレジット収納やペイジー収納の実施
- (3) 区役所の戸籍住民窓口における支払への交通系電子マネーの活用
- (4) 決済事業者が行うキャッシュレス決済の普及支援
- (5) 公的納付金のキャッシュレス納付のさらなる普及